

田園の家

設計趣旨

那珂市の国道近くにあるこの土地は、雑木林や畑の風景が広がり、豊富な自然に囲まれている。その豊かなランドスケープと呼応するよう、住宅の構成は真四角の二階建て部分の周りを平屋が囲うというシンプルな構成とした。

平屋部分には、玄関や台所、水廻り、個室、納戸といった生活を支える部分をまとめ、広間を中心にごろごろ回れる淀みのないプランとした。

また屋根を支える八溝杉の垂木を現しとし、家の特徴である平屋の屋根を感じられるよう考慮した。

広間の窓際は、低く抑えた深い軒と相まって、気持ち良い縁側のような居心地となっている。

二階部分は主人の個室となり、一階との程よい距離感が生まれることで、在宅仕事などにも対応できるよう配慮している。

近所には納屋や蔵のある農家住宅が多くみられる。その豊かな土地で、土にふれながら自然と共に広々と暮らす、小さな家を考えて。

地域材使用のポイント

県産材八溝杉を柱・梁などの構造材として積極的に利用し、特に二階の方形屋根は大工による手刻みにて加工されている。また一階部分の屋根を支える垂木は、尺ピッチで並べ、化粧材として現しの仕上とした。

また外壁には、八溝杉を鎧張りとして利用し、近所にある農家住宅と風合いを揃えるよう塗装しどこか懐かしさのある佇まいを目指した。

内部空間には、化粧垂木とともに、床材も同じく八溝杉とし、更には二階への階段も全て杉材でつくるなど、材料を統一して利用した。

また造作材として、枠材、窓枠、八角形に加工し手摺にも八溝杉を利用している。

住宅の規格や緒元

面積表

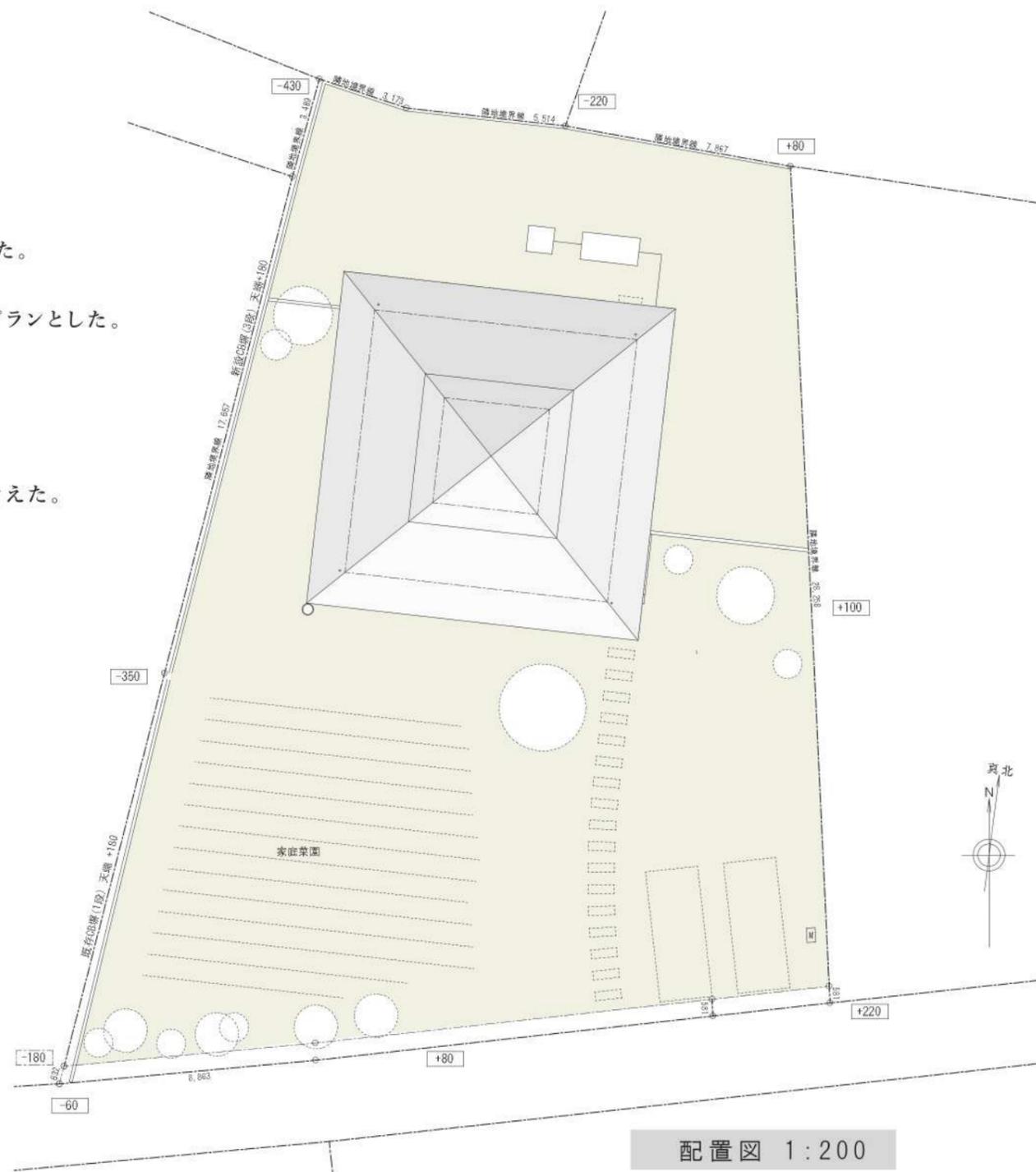
建築面積	: 82.81㎡
1階床面積	: 13.24㎡
延床面積	: 92.54㎡
構造	: 木造二階建て

外部仕上

屋根	t0.4ガルバリウム鋼板 平葺き
化粧垂木	杉45×120@303 現し
外壁	杉 t15×150
化粧柱	杉 t105×105
破風板	杉 t105×27

内部仕上

全室共通	
天井	杉化粧垂木 45×120@303
床	杉無垢板 105×15 オスマワックス塗り
巾木	杉 h45 O.F
階段	杉 t45(ササラ板、段板共)
建具枠・窓枠	杉 t27 O.F



配置図 1:200



化粧垂木・隅木には県産材八溝杉が使われ



県産材八溝杉を利用した床材。



2階個室。南側窓からは田園風景が一望できる。



1階個室より玄関方向をみる。広間を中心に回遊性のあるプラン